

オープンアクセス¹

星空案内人資格認定制度ニュースレター No.77

発行：特定非営利活動法人星のソムリエ機構

発行日：2025 年 11 月 30 日

目次

第 18 回 星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウムの参加申込、発表申し込みの受付開始！	1
星のソムリエシンポジウム与論島 2026 ～開催準備のご報告～	2
シンポジウムスポンサー募集	4
11 月の機構の活動	6
星のソムリエ何でも情報交換会	6
投稿	6
100 人の星のソムリエ®を輩出！～与論島における星空ガイド育成の取り組み～	6
空から降り注ぐオーロラに出会う旅（第 2 話）	11
お願い(投稿募集)	12
便利メモ	12
星のソムリエ機構への問い合わせや相談の受付	12
シンポジウムポスター	13

第 18 回 星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウムの参加申込、発表申し込みの受付開始！

第 18 回 星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウムの参加申込、発表申し込みの受付が 12 月 1 日より始まります。

プログラムなど開催の詳細はシンポジウム公式ページ <https://star-sommelier.org/symp18/>

をご覧ください。上記ページに参加申し込み、発表申し込みへのリンクがあります。



¹ 本ニュースレターは、クリエイティブ・コモンズ CC BY の下に提供されています。引用の際は「星空案内人資格認定制度ニュースレター」とその番号、署名記事の場合は著者名を明記してください。



日時 : 2026 年 3 月 14 日(土曜)(午後から)～16 日(月曜)(午前中まで)

会場 : 与論町砂美地来館 (さびちらかん)

現地とオンラインのハイブリッド開催です。

参加費 : 2,000 円(現地でもオンラインでも同額です)

主催 : 特定非営利活動法人 星のソムリエ機構

共催 : 与論町、(一社)ヨロン島観光協会、与論島夜空のおさんぽガイドの会

特別協賛 : 株式会社ビクセン

協賛 1 : 合同会社プラネタリウムワークス

協力 : 日本旅行



ヨロン島観光協会 HP より

星のソムリエシンポジウム与論島 2026 ～開催準備のご報告～

今回のシンポジウムは、本土から遠く離れた離島、与論島が会場となります。いつもの開催とは環境が異なるため、参加される皆さまに安心してご来島いただき、充実した学びを得ていただくために、機構として以下の点を工夫し、準備を進めております。

1. 離島開催に合わせた 3 日間日程の採用

これまでのシンポジウムは、主に 2 日間日程で実施されてきました。しかし、与論島が開催地となる今回は、ご参加いただく皆さまに空路・海路の利用や移動のゆとりを確保していただくため、3 日間の日程といたしました。

この日程の余裕は、シンポジウムでの学びを深めるとともに、与論島の風土に触れる時間として活用していただきたいと思います。3 日間のプログラムも、従来とは異なる構成で準備しております。

2. 与論島ならではの要素を取り入れたプログラム進行

3日間を通して、与論島という地域性と、「星のソムリエ」の専門性を活かす構成に配慮しました。

1日目：地域連携と交流

企画セッション『星空を資源とした地域振興』では、与論島での事例を核に、全国各地の取り組みの共有と意見交換を行います。夜の懇親会は、与論島の食材を活かした場で、参加者間の交流が深まるよう設営いたします。

2日目：新しい学びと地域体験

招待公演には、天文系 YouTuber のリコットさんをお招きし、その活動の動機や未来について語っていただきます。従来の発表に加え、ライブ配信形式での質疑応答を取り入れ、双方向の学びの場となるよう試みます。

食：昼食時には、島内の様々な味を楽しんでいただけるよう、地元のキッチンカーにご協力いただき、会場周辺に出店していただく予定です。

夜：エクスカーションとして、地元の星のソムリエによる星空案内を予定しています。リコットさんによる動画配信も計画中です。

3日目：実践的なワークショップ

最終日は、これまでの学びを地域へ還元するため、「星空と観光の課題解決」をテーマとしたワークショップを開催します。参加者の皆さまが、具体的な課題解決に繋がる知見を得て、地元へ持ち帰っていただけるよう意図しています。

3. 参加しやすい環境整備のための協力体制

遠隔地での開催となるため、飛行機、船、宿泊といった手配の煩雑さが、参加への障壁となることを懸念いたしました。

この負担を軽減し、より多くの方にご参加いただくために、今回は日本旅行様にご協力いただき、シンポジウムの申し込みと、移動・宿泊の手配を一括で行えるよう体制を整えました。

離島であることから、旅費・宿泊費についてはある程度のご負担をお願いすることになりますが、機構と日本旅行が連携し、できる限り円滑にご参加いただけるよう努めております。

今回の与論島開催は、私たち星のソムリエ機構にとっても、一つの新たな挑戦です。この経験が、全国の星のソムリエの皆さまの活動に新たな視点をもたらし、次なる発展に繋がることを願っております。

皆さまのご理解とご参加を心よりお待ちしております。

星のソムリエ機構 萩野祐司


シンポジウムスポンサー募集


スポンサー募集

「星のソムリエ®」シンポジウム開催を
サポートしてくださるスポンサーを募集しています。



全国の星のソムリエが集う
「第18回星空案内人
(星のソムリエ®)シンポジウム」
を与論島にて開催！
開催日：2025年3月14-16日





← シンポジウムHP <https://star-sommelier.org/symp18/>
与論島 <https://www.yorontou.info/feature/17872.html> →



星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウムは、2007年以来毎年開催されている星空案内に関する最大規模の全国シンポジウムです。星空を愛でる文化を広め、また、科学への理解増進する活動として、宇宙をテーマに幅広く活動する星空案内人「星のソムリエ」が全国から集まります。活動の成果を報告し、今後の活動を促進を図るシンポジウムです。

主催者である特定非営利活動法人星のソムリエ機構は星のソムリエ®のための学習課程を創設し星空案内人資格認定制度を運営しています。現在、本制度を利用する団体は50カ所あまりあり、約8000人の「星のソムリエ」が全国で活動しています。今年は遠隔地開催で運営経費についてはぜひ資金のサポートをお願いします。[詳細裏面](#)

星空案内人資格認定制度を実施してる団体



星空案内グッズの表彰式



ショッピングセンターで星空観察会(上下)



郡山駅前で星空観察(上)
望遠鏡づくりのワークショップ(震災被災地で)(下)



スポンサー区分と特典

プラン	特別協賛 70,000円	協賛2 20,000円	協賛1 10,000円	展示ブ ース協賛 25,000円	展示 ブース 出展 7,000円	個人 寄付 一口 1000 円よ り
1.優秀発表賞の授与者として参加	○					
2プログラム、ウェブサイト、開催案内メールにスポンサー名とロゴを広告掲します。	○	○	○	○		
3. 提供配布物を受付にて参加者に提供	○ (希望がある場合)	○ (希望がある場合)		○ (希望がある場合)		
4.会場にて展示ブース設置	○ (希望がある場合)			○	○	
5. 参加費免除	3名様まで	2名様まで	なし	2名様まで	2名様まで	なし

ご提供内容の説明：

1. シンポジウムでは参加者からの投票で「最優秀発表賞」を授与しています。その中で、スポンサー名の入った表彰状およびご提供いただいた副賞を贈呈いたします。表彰式はYouTubeにて配信予定です。
 2. シンポジウムプログラム、ウェブサイト、参加者募集要項等にスポンサー名、スポンサーロゴを掲載します。広報の件数およそ1万件です。
 3. ご希望があれば、受付にてご提供のパンフレット等を参加者に配布します。
 4. 会場にてスポンサーの製品等展示販売ができます。広さは、展示パネル 1800 mm × 816 mm 長机 1800 mm × 450 mm を準備致しております。他に
ご要望があれば申し出ください。
 5. シンポジウム当日の参加費の免除があります。
 6. 個人寄付は直接下記メールアドレスにご連絡をお願い申し上げます。
- ※ 特別協賛と共催は同じ内容です。今回は会場の都合により営利企業は共催の名前がつかえないため特別協賛という名前になっています。

スポンサー申し込みは以下のメールアドレスをお願い申し上げます。

kiko@star-sommelier.org

特定非営利活動法人星のソムリエ機構
代表理事 柴田 晋平

シンポジウムについての詳しい情報はこちら



← シンポジウムHP <https://star-sommelier.org/symp18/>
与論島 <https://www.yorontou.info/feature/17872.html> →



11 月の機構の活動

星のソムリエ何でも情報交換会

星のソムリエ何でも情報交換会(11 月)

日時 2025 年 11 月 7 日水曜 20:00-21:35、 場所 Googlemeet 会議、 参加：13 名

今回は、星空を資源にした地域活性化や観光開発についてを中心として情報交換しました。

情報提供：

題目 星座を見つけようの実技試験を市街地でどうこなす？

話題提供者 柴田 神秘絵(星のソムリエ機構)

参加者からの感想

「星座を見つけよう」の項目で、実際に星座を見つける問題に関して多くの方の受け止め方が本来の意図とずれていたということがわかりました。様々な方が受講する星のソムリエ講座ですので、詳しい方から初心者の方まで、様々な方への対応をしてくださる実施団体の皆さんの大変さも感じました。すでに認定していただいている私たちが、今回のように情報を共有することで「星のソムリエ講座」も進化しているんですね！

八尋 綾乃(福岡県)

投稿

100 人の星のソムリエ®を輩出！～与論島における星空ガイド育成の取り組み～

与論島 夜空のおさんぽガイドの会

文責：澤田 幸輝（書記・会計／シンポジウム LOC）

先月号の Newsletter では、鹿児島県与論島で進めている星空環境保護の活動について紹介しました。機構メンバーと現地スタッフ（LOC）は、シンポジウムの現地参加 200 人を目指して、日夜準備に奮闘中です！

与論島では、2019 年度より、和歌山大学観光学部と連携して、星空を地域資源とした持続可能な観光地域づくりに着手してきました。その一環として、与論島では星空案内人資格認定制度を活用した星空ガイドの育成に取り組んでいます。現在の与論島では、100 名の星のソムリエ®（正案内人：5 名、準案内人：95 名）を輩出しています。人口約 5000 人の島ですので、人口当たり約 2%の取得率になります。人口当たりで見ると、国内最大の取得率を誇る自治体でないかと思います。また、2023 年度までは和歌山大学のサテライト講座としての扱いでしたが（講師：尾久土正己）、2024 年度からは、後述する「与論島 夜空のお散歩ガイドの会」が実施団体となり、認定講座を開講しています（図 1）。



図 1. 与論島での星空案内人講座の様子

9月号の Newsletter でも紹介しましたが、これまでの与論島は夏場の海が主要な観光資源になっており、また夜の経済活動は居酒屋などでの飲食活動が主でした。昨今、ナイトタイムエコノミー（夜間経済）の創出が重要視される中であって、与論島における夜の観光コンテンツは十分でないのが実情でした。夜の新たな観光コンテンツとして注目したのが、与論島の美しい星空でした。ちなみに、与論島の伝統的な儀礼文化として、「与論献奉（よろんけんぽう）」があります。これは、与論島で醸造された黒糖焼酎「島有泉」を大杯に注ぎ、参加者全員で回し飲みをしていくおもてなしの儀式です（図2）。「与論献奉十カ条」を遵守しながら、皆様を心からおもてなしする予定ですので、乞うご期待ください！



図 2. 2023 年の星のソムリエシンポジウムで実施した与論献奉の様子

星のソムリエ®を取得した島民の中には、実際にツアー事業を展開するガイドさんも現れています。アークトゥルスの橋本康宏さんは、一組限定の貸し切りツアーを実施しています（図3）。ツアー料金は時間変動制で、1時間ツアーが3,300円、1時間30分ツアーが4,000円、2時間ツアーが5,500円になっています。橋本さんのツアーは、その豊富な知識量をもとにとにかく喋ってくれる点に特徴があります。貸し切りツアーであることから、お客さんの希望や興味に応じて柔軟に星空ガイドをしてくれるとともに、ツアー開始時間もお客さんの要望に応じて自由に設定可能です。元々、橋本さんは海のガイド業に従事していたこともあり、お客さんとの距離の詰め方やコミュニケーションの仕方が本当に上手で、非常に満足度の高いツアーになっています。



図3. 橋本さんによる星空ツアーの様子

ビーチボーイクラブの本園秀幸さんは、ビーチベッドに寝ころびながら与論の星空を楽しめるツアーを催行しています（図4）。本園さんのツアーは1人5,500円で、満点の星空をバックにした記念写真付きプランになっています。本園さんも天文・宇宙の知識量は半端ないですが、ガイドは基本的なことだけを話して、お客さんから質問があれば丁寧に答えるスタイルでツアーを実施しています。また、ツアー名が「銀河星雲撮影&天体観測ツアー」になっている通り、スマート望遠鏡を駆使した天体写真撮影も組み込んでいます。月がある日はツアーを実施しないという、お客さんとにかく満点の星空を楽しんでもらいたいという、こだわりたっぷりのツアーです。本園さんはユーモアいっぱいのガイドのため、こちらもお客さんからの満足度が高い星空ツアーになっています。



図 4. 本園さんによる星空ツアーの様子

橋本さんと本園さん以外にも、星空ツアー事業を展開しているガイドさんがいます。また与論島では、観光ツアー業に従事していない島民も星空ガイドを実施している点に特徴があります。例えば、与論町図書館では「星空の話を聞いてみよう！」と題して、島民向けに天文・宇宙の絵本や紙芝居の読み聞かせイベントを実施しています（図 5）。また、島の小学生向けの星空観望会も定期的を実施しており、星のソムリエ®が島の天文教育普及活動を担う存在として、大きな役割を果たしています。



図 4. 与論町立図書館の職員による星空イベントの様子

島内の星空ガイドの増加を受けて、2022 年には星空ガイドに特化したガイド協議会「夜空のおさんぽガイドの会」を発足させました。夜空のおさんぽガイドの会は、「星空ツアーや星空観望会等の

星空に親しむ場を地域住民や観光旅行者に提供すると共に、良好な光環境の保全に努めることで、地域振興に貢献し星空ガイドの社会的地位を確立することを目的」に発足したもので、現在 30 名程度の星空ガイドが会員になっています。会長はアークトゥルスの橋本さん、副会長にはビーチボーイクラブの本園さん、顧問として島のアマチュア天文家である上野裕司さんと奈良県立大学学長の尾久土正己さん、事務局長は与論町役場商工観光課長が務めています。まさに産官学連携で、与論島のアストロツーリズムを推進するための組織になっています。また 2024 年度には、夜空のおさんぽガイドの会が星空案内人講座の実施団体に認定され、初年度は島内外の多くの方に講座を受講していただきました。また、おさんぽガイドの会主催の星空観察会も定期的に行っており、十五夜祭りやサンゴ祭り、ヨロンマラソンなどの島内イベントがある際には、ゲリラ的に観望会を実施することもあります（図 5）。島のアストロツーリズム振興および天文教育普及活動を進めていくための実施母体として、今後も積極的に活動を進めていきます。



図 5. おさんぽガイドの主催「月の出観察会」の様

与論島には、美しい星空だけではなく、星空を楽しむためのガイドが多く活動する島です。星空案内人資格認定制度を活用した地域づくりの事例として、皆様の参考になる情報を多く提供できるものと自負しております。ぜひ、与論島の星空ガイドを実際に現地で体験していただければと思います。

お問い合わせ先：与論島 夜空のおさんぽガイドの会 澤田幸輝 (k-sawada@owjc.ac.jp)

空から降り注ぐオーロラに出会う旅（第2話）

井阪あゆみ（星のソムリエ機構理事・ちはや星と自然のミュージアム解説員）

2025年9月18日～25日、星のソムリエ®の仲間・家族とともにカナダへ行ってきました。前回の旅行記では、イエローナイフでのオーロラツアーの手配について記しましたので今回はその他の旅行手配について書きたいと思います。

一般的に海外旅行と言えば、パック旅行利用するのが手軽ですが、コロナ禍以降、なかなかパック旅行の種類が少ないこと、4人とも仕事を持っているので日程が自由にアレンジできる個人旅行の方が何かと便利だと思い、今回は飛行機・ホテル・各種現地ツアーを自分たちで手配する自由気ままスタイルに決定しました。

AIR Canada✕関空▶カルガリー(バンクーバー乗り継ぎ)

WEST jet✕でカナディアンロッキー▶イエローナイフ

AIR Canada イエローナイフ▶関空(エドモントン・バンクーバー乗り継ぎ)

を取り急ぎ手配しました。最近はネットで飛行機も簡単に取れるので、AIR Canada は直接公式サイトで、WEST jet はエクスペディアを利用しました。

次にホテルの確保です。

カナディアンロッキー観光には、バンフに泊まるのがアクセスも良く第一選択肢です。しかし、コロナ以降カナダ全般において宿泊代が爆上がりしていること、円安の影響なども考えると、高い！と言うのが私たちの感想でした。そこでカナディアンロッキーのガイド・田中康一さん <https://tanacanada.com/> のアドバイスを受け、キャンモアという街に泊まることを決断しました。

バンフから約20分バスに乗れば着く街です。結果的に私たちはこのキャンモアの街が大好きになったので、大正解だったといえます。私たちは4人で旅行したので、2部屋のベッドルーム(それぞれの部屋にシャワールームあり)にダイニングキッチンがついたタイプの部屋を確保しました。バンフでの宿泊は大体1人1泊30000円～40000円が相場ですが、今回泊まったホテル「Grande Rockies Resort」は1人1泊17000円弱とかなりの節約になりました。

次にイエローナイフでの宿泊先を確保します。このホテル探しにはかなり苦心しました。と言うのはイエローナイフから帰国する便が早朝便で、ホテルからイエローナイフ空港へのアクセスがとても不安だったからです。路線バスや鉄道が通っていないため、ホテルのサービスとして出しているシャトルバスを利用するかタクシーで空港に向かう必要がありました。最初予約していたホテルにはこのシャトルバスのサービスがなかったので、いろいろ調べた結果、シャトルバスが出ている「Capital Suites Yellowknife」に変更しました。こちらもキャンモアと同じタイプの2ベッドルーム+ダイニングキッチンでしたが、なんと1人一泊10000円弱。驚きの安さです。どちらもエクスペディアの予約サイトを利用しました。

さて、カナダの入国にはETAが必要です。手数料を支払えばこの手続きを代行してくれるところ

もありますが、今回私たちは直接大使館のサイトで取得しました。入力事項が煩雑だったものの、翻訳アプリなどを利用して7 Canada ドルで取得できました。

いよいよカナダが近付いてくる！そんなワクワクを感じながらの準備です♪



お願い(投稿募集)

皆様からの投稿をお願いします。近況報告や星空案内ネタ、短い随筆、俳句、短歌、写真、長くても構いません。報告書、研究結果などなんでも結構です。毎月月末発行ですので、その1週間前くらいまでにいただければ嬉しいです。
(編集担当；柴田)

便利メモ

星のソムリエ機構への問い合わせや相談の受付

問い合わせや相談の総合受付を設けております。どうぞご利用ください。

<https://star-sommelier.org/helpdesk/>



シンポジウムポスター

3日間の非日常・特別体験

星のソムリエ® シンポジウム2026

IN 与論島

2026年3月14日(土)～16日(月)

**エクスカーショ
ン
浜辺の星空体験**



波音と共に聞く星の物語は
一生モノの体験に。

**星ソム・フェスエリア
登場！**



星を語りながら
お腹も心も満たそう♪

**非日常のロケーションで
全国の仲間と**



奇跡のような出会いが
ここに集う。

会場：与論島砂美地来館
〒891-9301
鹿児島県大島郡与論町茶花2045

日本各地の星のソムリエ®が南の島・与論に集結！
発表はもちろんのこと
体験型×フェス型の新しいシンポジウムへ！

旅行パッケージ：日本旅行より
飛行機・移動・ホテル込みの特別ツアーも登場！

最新情報・耳寄り情報は
こちらをチェック！➡




機構ロゴ：福島茂良

主催：特定非営利活動法人 星のソムリエ機構
共催：与論町・(一社) ヨロン島観光協会・与論島夜空のおさんぽガイドの会
協力：日本旅行

